

送粉相互作用の生態系機能評価



大学院理工学部(理学)
准教授 石井 博

研究のキーワード

花粉媒介動物、ポリネーター、進化、行動、群集、生物間相互作用

研究の内容

植物種のおよそ9割もが花粉の媒介を動物に頼っているとされています。このため、植物と送粉者(ポリネーター)の関係は、生態系の中で極めて重要な生物間相互作用とされています。私達の研究グループは、人工花を用いた屋内実験や野外調査を通じ、送粉者の記憶や視覚のメカニズムが彼らの行動に与える影響、送粉者の行動が植物の進化や群集構造に与える影響、さらには送粉系を取り巻く様々な種間相互作用の研究をしています。

産学連携・特許

科研費等外部資金

- 平成27-30年度 基盤研究A「ハナバチ送粉系の生態系機能の解明:植物群集の開花構造と形質進化」(分担)
平成27-29年度 基盤研究C「植物群集における双翅目ポリネーターの生態系機能評価:訪花行動と花粉流動の解析から」(代表)
平成23-25年度 若手研究B「高山生態系の特性を利用した、送粉ネットワーク構造の解析」(代表)

その他、社会貢献・受賞など

2008年 第12回日本生態学会 宮地賞受賞

研究の概要図

